

「高齢者雇用」を考える YUVECがシンポ開催



高齢者雇用について考えようと、横浜国立大学発の産学連携支援組織「YUVEC（ユーベック）」はこのほど、『「まだ出来る人」の“隙間時間”活用』をテーマにしたシンポジウムを横浜市中区海岸通の波止会場館で開催した。

基調講演として「定年後のシニアの処遇低下はどこまで許されるのか」について、同大学大学院の石崎由希子准教授と米村幸太郎准教授が話した。

後半は中小企業の経営者も加わり、パネルディスカッションが行われた。その中で、日本濾水機工業（横浜市南区井土ヶ谷中町）の橋本美奈子社長は「（従業員が）定年後も自分のライフスタイルに応じ働き続けられるような会社を目指すべきです。また、これからは年金が不足する時代です。『稼きたい』と考える高齢者に対し、会社としてどう向き合っていくべきか考えなくてはなりません」と語った。

一方、ダイバーシティ経営を進める、プレス加工の栄和産業（綾瀬市吉岡東）の伊藤正貴社長は「シニア人材は周りのお手本と言えます。長く働き続けるために、仕事に対するやりがいを持ってもらうかも大切です」と話していた。

企業経営者の意見も

社長は「2030年には社員100人、年商30億円にしていきたいです」とチャレンジを続けている。

フォークが非常用電源に



建設機械販売・レンタルの旭フォークリフト（相模原市中央区田名、☎042・762・4630）は、9月の台風15号で甚大な被害を受けた千葉県内のフォークリフトユーザーに対し、同社が開発した自社製品「AB1（旭バッテリー・インバーター）」を無料で貸し出した。

同製品は昨年5月に製品化したもので、電動フォークリフトのバッテリーから家電製品に使用可能な100ボルト電源を取り出せる災害用電力変

旭フォークリフト

台風被害の工場に無料貸し出し

換器。持ち運びやすく、保管もできる頑丈なジュラルミンケースとの一体型だ。

重さ5・5キロ。ケースを開くと、変換器本体とプラグ、100ボルト用コンセントが搭載されている。フォークリフトのバッテリー部分にプラグを接続し、本体スイッチを押すだけで利用できる。

フォークリフト1台で携帯電話なら約270台分、パソコンなら約55時間分の電力が賄える。今回、電力の復旧が遅れている地域では、連絡手段である携帯電話などの充電にも不自由することから、現地でも重宝されたという。横江利夫社長は「テレビで被害の様子を見て一刻も早く役に立ちたい」と思い、無

料貸し出しを決めました」と話しており、今後も引き続き支援していく考えだ。



横商の女性会、 全国で最優秀賞に

横浜商工会議所・女性会による異業種勉強会「女性塾」が、全国417ある商工会議所の中で、「個として光る」女性会事業として最優秀賞（日本商工会議所会頭賞）を獲得した。9月5、6の両日、鹿児島県内で開催された全国大会で同会の河原隆子会長（関東陸送）が、日商の三村明夫会頭から表彰された。

同会は「行動する女性会」として、2012年から女性経営者の自己研鑽や地域活性化などを目的に定期開催。さまざま業種で構成される会員が講師となり、経営者としての資質向上に励んできたという。

年3回の小規模勉強会のほか、大規模女性塾も年1回開催。著名な女性経営者などを招くなどして、毎回150人が参加している。この女性塾を始めたことで、2019年までに会員数が30人以上増加。このうち4割以上が50歳以下であるなど、結果を出していることなどが高く評価された。

積極的な勉強会開催で会員数増加



中小こそSDGsを

東京きらぼしFGがセミナー

東京きらぼしフィナンシャルグループ（東京都新宿区）などは9月17日、川崎市幸区大宮町の起業家支援拠点、K-NIC（ケーニック）で、SDGs（持続可能な開発目標）をテーマにした



社長さんが知っておきたい 冠婚葬祭のマナー

前回、お葬式に参列される方に向けて、場面ごとのシンプルなおあいさつをご紹介しました。今回は、お葬式のおあいさつで気を付けたい言葉をお伝えします。

お葬式は、幅広い年代の方が集まってくる“公の場”です。良識ある態度と失礼のない言葉遣いは、礼儀として必須です。その中で「忌み言葉」と言われているものがあります。

ご存じの方もいらっしゃると思いますが、説明しますと、「忌み（いみ）言葉」とは、慶弔の場において、縁起の悪い言葉、不幸・不吉な言葉、不幸が重なること



それでは、忌み言葉とその言い換え方の一例をご紹介します。

（□忌み言葉→○言い換え例）

□度々→○よく／□引き続き→○これからも／□死ぬ→○亡くなる／□重ね重ね→○深く／□色々→○多くの □まだまだ→○もっと／□また→○改めて／□追って→○後ほど／□再び→○いま一度／□次々と→○順に

不幸が重なることや、不幸の繰り返しを連想させてしまう言葉は、「また誰かが亡くなってしまっても…」と不安にさせてしまうので、言葉や文字にする際は覚えておくとい